

令和元年度文京区中学生俳句大会 特選・入選作品発表

特選【佐怒賀 正美 選】

あと少しもう少しだと夜なべする 本郷台中学校 小山 実倫

秋空や古びたピアノのアラベスク 第九中学校 流石 朋香

雪だるま我が家を裏で支えてる 第九中学校 小杉 航也

初雪が降りはじめてもバツト振る 跡見学園中学校 飯塚 仁咲

道端に日に日に増えてく雪だるま 第九中学校 星野 藍

特選【松澤 雅世 選】

「早く帰れ」枯れ蘆ざわめく母のごと 第九中学校 中村 進之輔

また会おう大地へかえる雪だるま 本郷台中学校 市川 和佳奈

冬の夜星はまるで夢の数 本郷台中学校 森 寿日夏

色変わる令和と並木のいちようかな 第九中学校 岡 莉恵子

ひとはけを加えたくなる秋の空 第九中学校 上野 明

入選【佐怒賀 正美 選】

雪の上手がかじかんでも豪速球

第九中学校

菊川 要

白い息二人見つめるスカイツリー

第九中学校

保坂 斗希也

クリスマス手に息かけるその横顔

本郷台中学校

龍ノ口 十音

歌声が校舎に響くコスモス揺れる

本郷台中学校

井口 慎太郎

紅葉狩り川のせせらぎ聞きながら

本郷台中学校

百瀬 陸

「早く帰れ」枯れ蘆ざわめく母のごと

第九中学校

中村 進之輔

鰯雲風がやさしく通りぬけ

第九中学校

鶴田 咲喜

どんぐりを拾い集めて日が落ちる

第九中学校

栗栖 純海

台風がすぎさりあとに山染まる

第九中学校

弘中 あかり

夕空にボールが消えて秋深し

本郷台中学校

山鹿 稀伸

入選【松澤 雅世 選】

消えないで炎のようなもみぢかな

第九中学校

朝日 菜穂

競走だ落葉の山の高さをね

第九中学校

諸見 真織

夕暮に包みこまれる子ども達

第九中学校

佐藤 優輝

鰯雲風がやさしく通りぬけ

第九中学校

鶴田 咲喜

厚着してながめているのは竿と白波

第九中学校

濱田 一朗

あたたかな落葉は猫の敷布団

第九中学校

近藤 夏芽

風吹いて赤いもみぢが旅に出る

本郷台中学校

木村 颯斗

夕空にボールが消えて秋深し

本郷台中学校

山鹿 稀伸

紅葉狩り川のせせらぎ聞きながら

本郷台中学校

百瀬 陸

お正月父の背中にありがとう

東邦中学校

肥沼 康一郎

【佐怒賀 正美 総評】

全体的には631句と多くの応募を見たことは選者としてもうれしい。朝寒くて布団から出られなかったり、二度寝したり、と言った句がけっこうたくさんあった。つまり皆が普通に思ったり行動することをそのまま読んだのでは平凡な作品に終わってしまうということである。その辺をもう一度考えて、来年はよりユニークな作品を書いていただければさらにうれしい。